

夏季実証実験実施結果報告書



令和7年12月

本実験の目的

- ✓ R6年度実証実験結果の精緻化及び実施における課題点の改善。
- ✓ 有料化の継続を通じた利用者マナー向上に関する取組みの定着、受益者負担の考え方の普及促進。
- ✓ R8年度以降の河川利活用事業化の方向性及び観光地域づくりの検討に必要な情報の収集。

実験概要

実施期間
7月19日(土)～8月30日(土)までの土日祝及び
8月12日(火)～8月15日(金)の計18日間

※詳細は右図カレンダー参照

実施者
株式会社グランテラスリゾート（埼玉県川越市）

利用時間

午前7時30分から午後4時まで(午後5時完全撤収)

※実証実験の期間中(7月19日～8月30日)は駐車場利用時間を
午前7時30分から午後5時までに変更。

実施内容

- ① 有料化エリアにおける火気使用料金の徴収
- ② 有料テントエリア、プライベートエリアの設置
- ③ 物販サービス、キッチンカー出店

利用料金

① 一般利用：大人1,000円/人 小学生500円/人

※小学生には虫取り網無料配布、未就学児は無料

② 有料テントエリア：10,000円

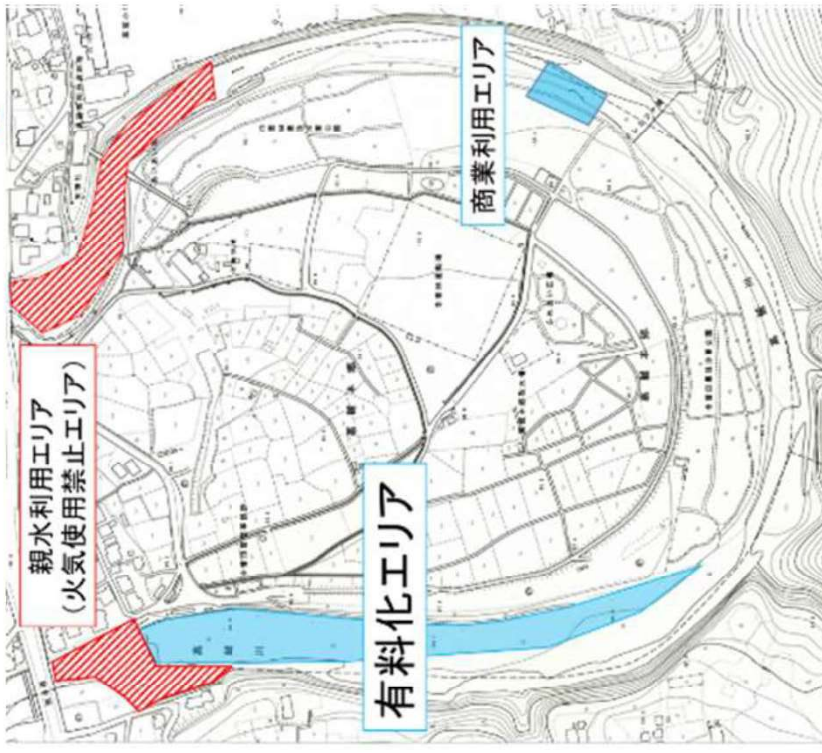
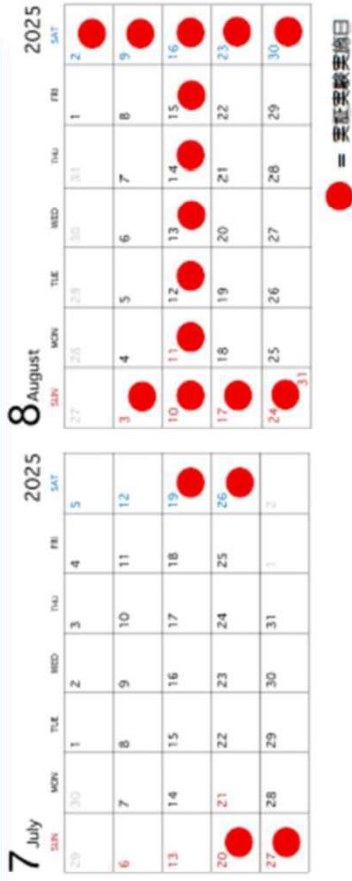
※事前予約のみ、8区画

③ プライベートエリア：区画利用33,000円

写真撮影15,000円

動画撮影20,000円

※事前予約のみ、1日1組限定、火気使用料金含む



来場者数

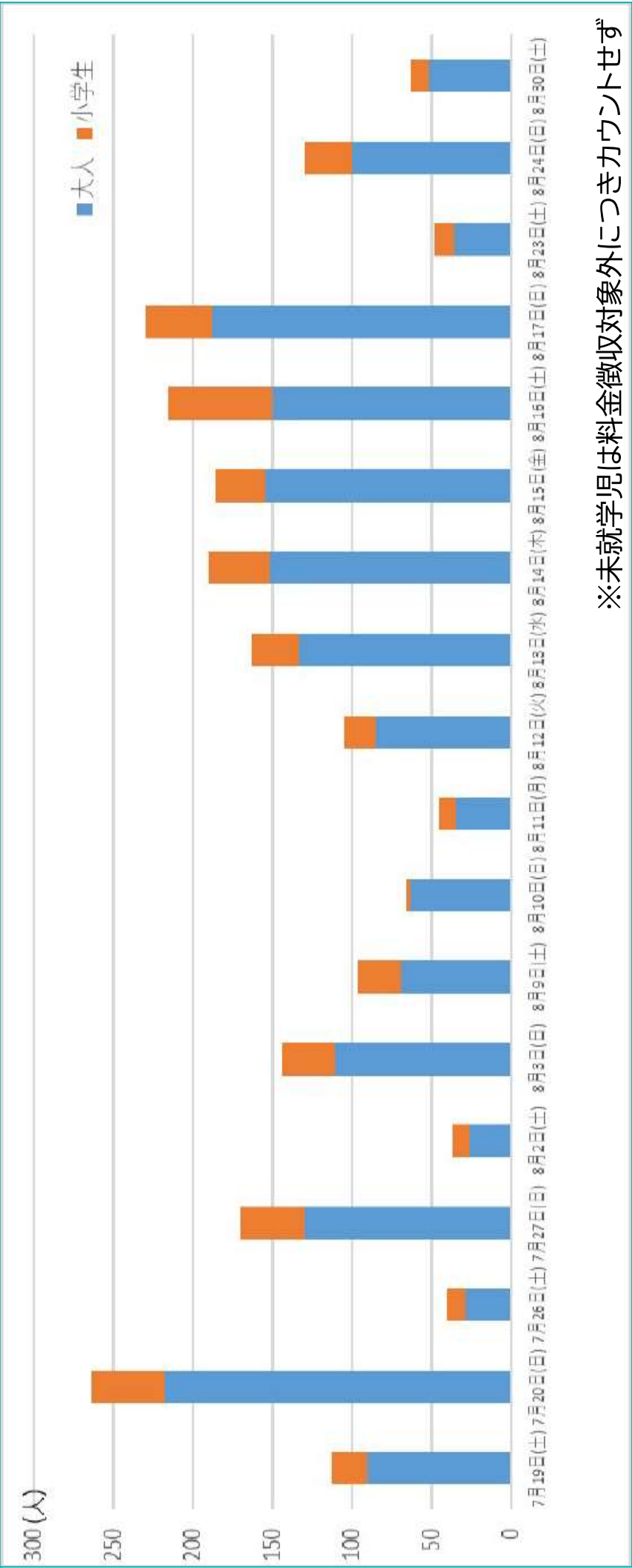
2024年度
来場者数
1,938人
1日あたり149人

2025年度
来場者数
2,611人
1日あたり145人

＝
673人増加※1
(1日あたり▲4人)

※実証期間が13日間(R6年)→18日間(R7年)に増加

日別来場者数



※未就学児は料金徴収対象外につきカウントせず

収支の分析

- ✓ 事業実施期間の増加、付帯サービスの売上増加、稼働人員の圧縮等により昨年度比より売上増・黒字着地。
- ✓ 貸出テント等の付帯サービスは初期投資が発生し、現時点の利用者人数では本格的な事業化が困難。
- ✓ 短期間の「イベント的」事業としては相応の収支を確保したものの、利用者は減少傾向であり中長期的には収益化モデルの再考が必要。

R7年度実証実験収支計算表

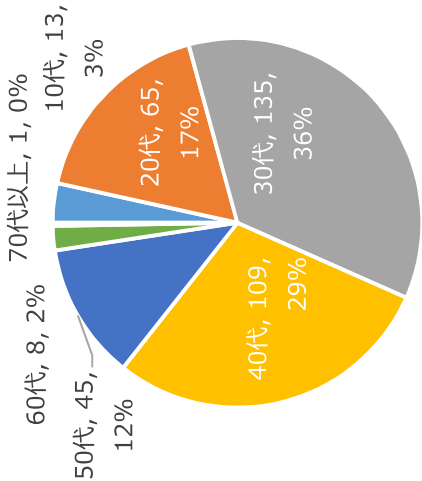
科目	金額	備考
売上高	2,518,000	昨年度比+663,150円
火気使用エリア	2,062,500	大人1,819人・小学生487人
有料テントエリア	105,500	8日間稼働(日により料金変動)
プレイベートエリア	330,000	10日間稼働
物販	20,000	グリル、テント、虫取り網、リストバンド等
諸経費	1,626,667	昨年度比▲235,280円
スタッフ等人件費	1,052,733	スタッフ人件費・日当
ごみ処理費	80,524	
備品・物品購入費	453,410	物販仕入・リストバンド等
その他経費	40,000	ガソリン代等
利益	891,333	昨年度比+693,300円

アンケート概要

来場者代表者が巾着田公式LINEアカウント友だち登録・アンケート回答を条件にゴミ回収を実施。

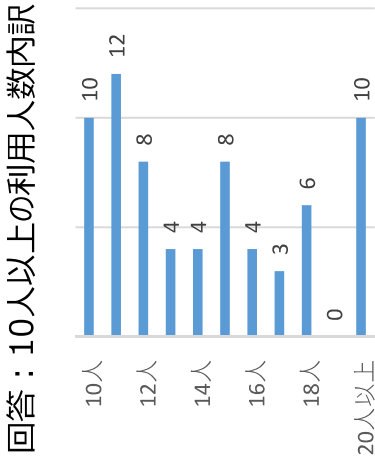
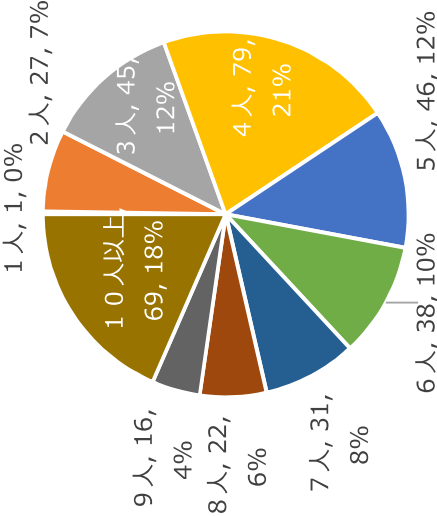
来場者数**2,611人**(1組平均6.3人・来場**414組**) → 回答数**376件**(回答率91%・1組1回答)

① 年齢層



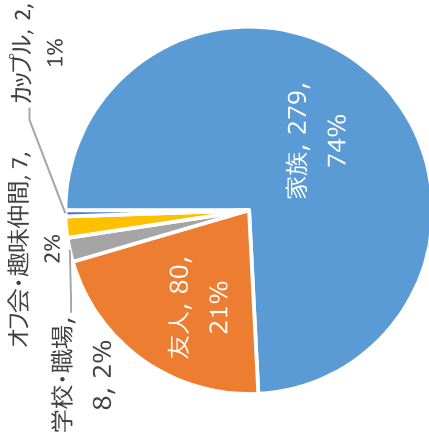
30代、40代のファミリー層
合計 78.4%

② 利用人数

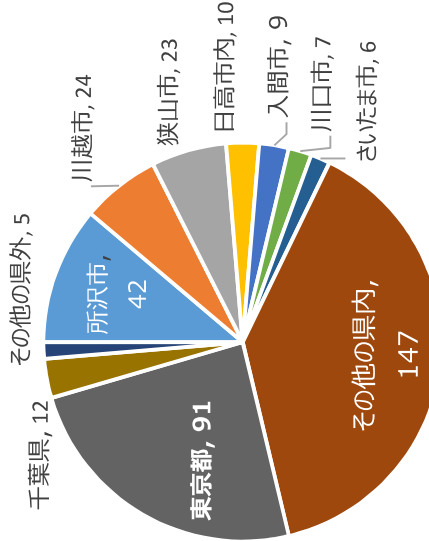


回答：10人以上の利用者人数内訳

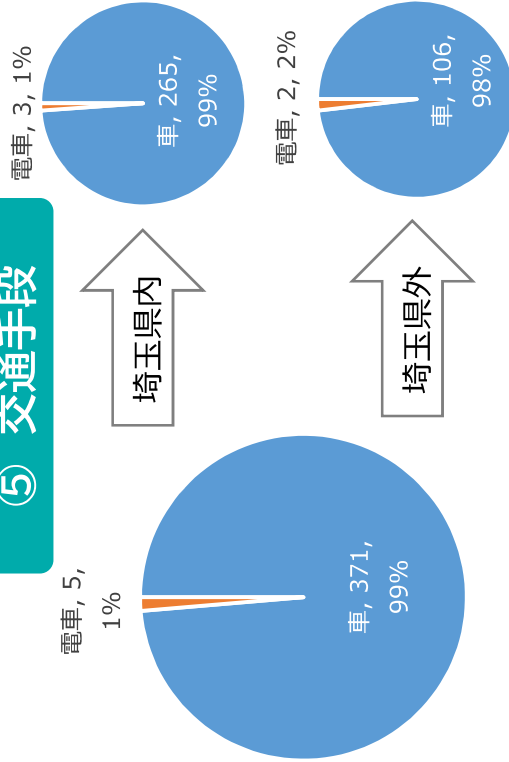
③ 関係性



④ 居住地

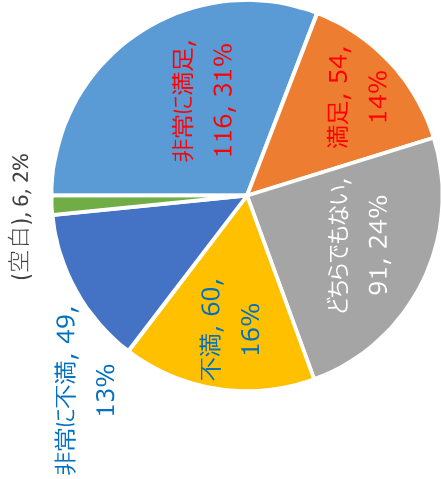


⑤ 交通手段

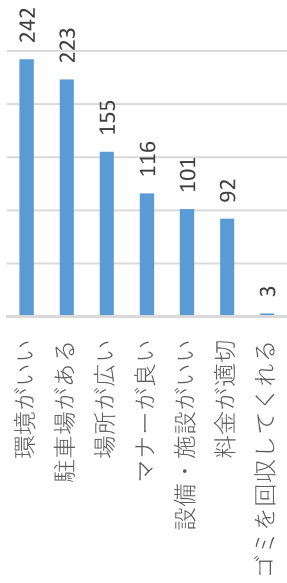


⑥ 来場者満足度

R7年度

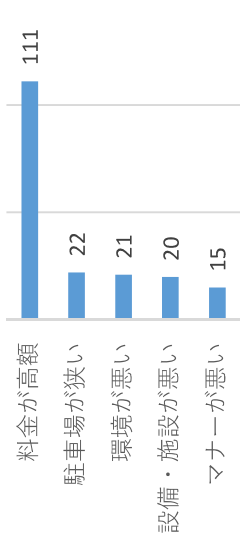


満足な点



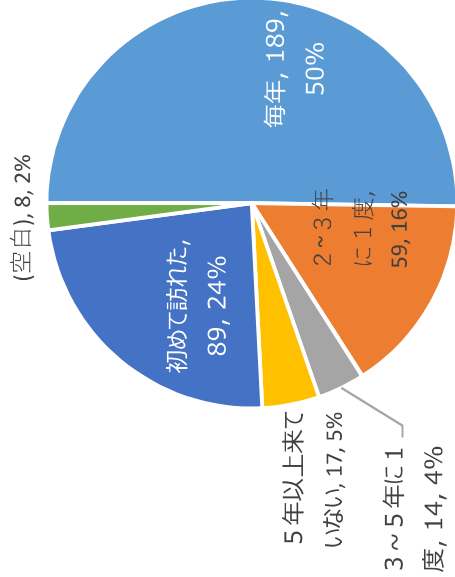
- <主な「その他」意見>
- ・ ゴミの引き取りが有難い。
 - ・ 混雑が緩和した。

不満な点

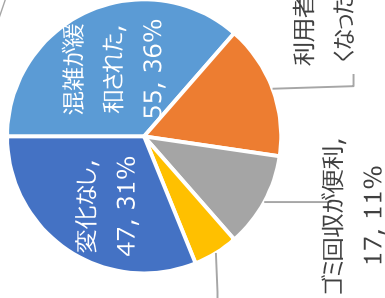
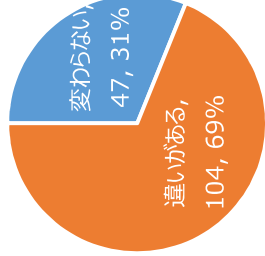


- <主な「その他」意見>
- ・ エリアが狭い。
 - ・ 以前より川が汚れている。
 - ・ システムがわかりにくい。
 - ・ トイレを綺麗にしてほしい。
 - ・ 利用時間が短い。

⑦ 利用頻度



過去利用時のうち、過去利用時との違い

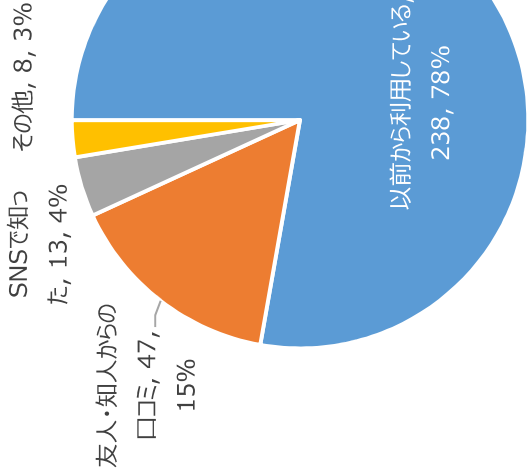


- <主なポジティブ意見>
- ・ BBQエリアが綺麗になった
 - ・ 出店・キッチンカーが便利
 - ・ 駐車場が近い
 - ・ スタッフの見回りで安全性が向上した

- <主なネガティブ意見>
- ・ 料金が高い。
 - ・ 利用時間が短くなった。
 - ・ シャワーがほしい。
 - ・ エリアの範囲がわかりにくい。
 - ・ 気軽に来れなくなった。

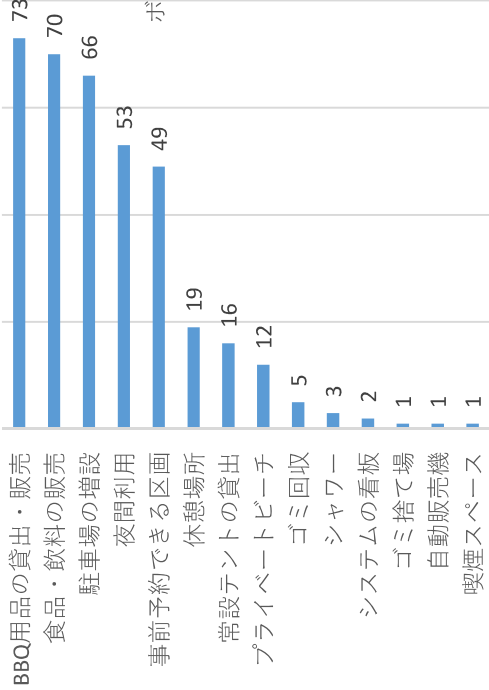
「混雑が緩和された」等プラスの意見が多い一方、「料金が高い」「エリアがわかりにくい」等、今後改善の可能性がある意見も一定数寄せられた。

⑧ 巾着田選定理由

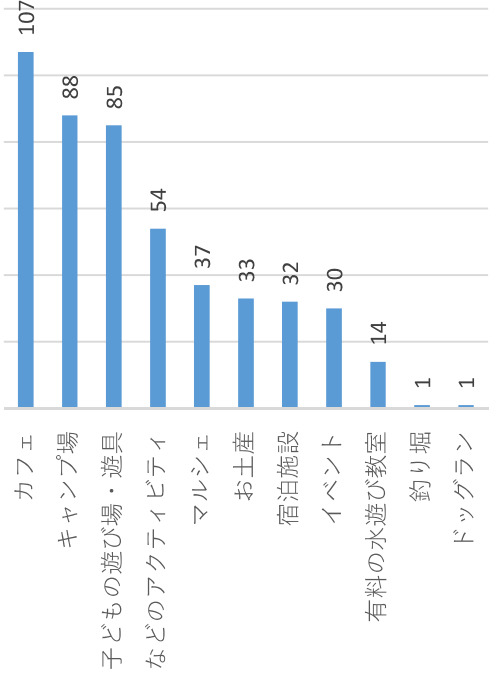


⑨ 新たに求める利用方法

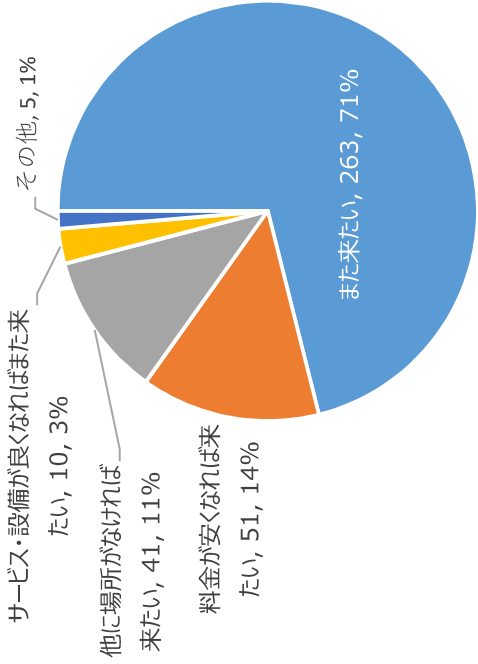
BBQ時に求めるコンテンツ



BBQ以外に求めるコンテンツ



⑩ 再来訪の希望



その他の意見・要望

・テント区画をライトアップしたり施設にこだわるべき
・有料化するなら無条件でゴミ回収・駐車場料金込みにしてほしい
・有料化するのであれば、トイレやゴミ置き場などの設備改善をしてほしい
・価格を安くしてほしい、家族割など
・家族単位の価格にしてほしい、小学生無料など
・音楽を流すことを禁止してほしい
・川遊びのエリアを大人用と子供用に分けて整備してほしい
・遊泳エリアと釣りエリアを分けてほしい
・有料化するなら利用ルールを明確化してほしい
・閉園時間が早い
・BBQ用品を販売してほしい
・キャンプに対応してほしい

「料金が安くなれば」「他に良い場所がなければ」という条件付きの意見もあるが、ほとんどが**再来訪の希望**あり。

実証実験による効果

- ✓ 「混雑の緩和」「利用者のマナー向上」「ゴミ問題解消」等の一次的な成果は相応に発揮。
- ✓ 再訪問・固定客が多い一方で、SNS周知等の効果により新規利用者が増加した。
- ✓ 短期間事業としては黒字化が可能であり、利用者ニーズに応じて拡大発展する可能性あり。

実証実験で得た課題

- ✓ エリアの区切りが困難であり、フリーサイト形式では事業者の管理負担が大きい。
- ✓ 長期滞在や休憩、BBQ・親水利用者が求めるスペース・機能を持つ拠点が無い。
- ✓ ライフスタイルの変化により河川・海等の自然空間で、備品レンタルサービスが無い「持込型」のBBQ・レジャーを楽しむ人口は減少傾向にあり、当エリアも同様のトレンドであることから、体験購入型・滞在自体に価値を提供できる観光地へのシフトが必要。
- ✓ 入場時に人数を過少報告する等の不正申告が見られるなど、管理体制の見直しが必要。

今後の検討事項

- ✓ 夏レジャー需要の減退を踏まえた、巾着田の魅力を活かした体験型・滞在型のコンテンツ開発。
- ✓ ファミリー向けの集客強化が可能な子供向け施設・体験の造成。（遠足の聖地とのシナジー）
- ✓ 来訪者の着地点や滞在拠点となる観光交流拠点の整備。
- ✓ 巾着田の保全・利活用両面に関心を持つ観光事業者の誘致及び育成。
- ✓ 巾着田の保全と収益事業の実施を両立する観光地域づくり法人の設立とエリア管理体制構築。
- ✓ 巾着田の自然環境に関心、新規ファン層の形成を目的としたPR・ブランディング展開。

短期方向性

河川有料化

R8年度はGW・夏季の有料化事業を開始しつつ、必要な整備を検討する。

その他
公園商業利用

観光拠点が開設できるまでは、単発型イベント・体験型コンテンツの誘致造成を図る。



観光地としての認知拡大・客数増加を図りつつ、運営体制・施設整備の検討を並行して進捗

施設整備の検討

河川敷内

区域指定を得つつ、低コストの運営体制を構築。
駐車場からのアプローチの整備を進め、それ以外の必要な整備の検討を行う。

高麗郷古民家

観光拠点として商業利用が可能か検討を行う。

都市公園内

当面は店舗出店等を想定せず、現状のキッチンカーの出店受付を継続実施する。

旧高麗小学校

観光拠点として活用が可能か引き続き検討を行う。

図：施設整備候補箇所と役割分担



指定面積と費用

1 北側河川敷

概算面積: 4,360㎡
占用料: 約66千円/年

2 南側河川敷

概算面積: 4,290㎡
占用料: 約64千円/年

※いずれも現況のままBBQ利用に供する場合(右図類型3)、テント設置・貸出等は類型2に該当する可能性あり。

1 北側河川敷

占用料支払原資

科目	R6年度	R7年度
売上高	2,170,750	2,518,000
支出	1,972,717	1,626,667
収支	198,033	891,333

事業性

- ✓ GW実施により最低限の採算ライン確保
- ✓ BBQ新規集客増は既存設備では困難
- ✓ 観光拠点の「庭」として一体活用を図る
- ✓ 河川整備はイベント・臨時出店用途を想定
- ✓ 単独の店舗整備は現時点で撤退リスク高

図: 想定されるBBQゾーン設定



○河川占用料

	区分	占用施設の例	占用料
1	建物の敷地の用に供する土地	飲食店、売店、オープンカフェ等	年額 360円/㎡
2	工作物の敷地の用に供する土地	移動販売車、簡易販売施設(テント、屋台等)、自動販売機、飲食店等に付帯する軽易な設置物(イス、テーブル等)イベント施設、洗い場、便所等	年額 160円/㎡
3	河川敷地を原形のまま占用させる土地	広場、キャンプ場、バーベキュー場及びこれらに附属する駐車場等	年額※ 1500円/a



ポイント

- ✓ 有料化はごみ回収等の機能維持を目的として当面は現況のモデルで実施。
- ✓ 観光拠点は旧高麗小学校、高麗郷古民家を想定し、宿泊・飲食・物販等サービスの提供を検討。
- ✓ 国補助金の活用を前提として、高麗郷古民家の観光拠点としての整備を検討。(小学校は所管課と要協議)
- ✓ 管理事務所は従来通り公園維持管理を担う一方で、観光協会が収益事業等に取り組みむ体制を想定。

